



コートとり当番担当クラブ

4月: 5月のコート: 本町C

5月: 6月のコート: 美佳B

6月: 7月のコート: 恩多B

発行責任者 柳 利夫

住所 東村山町萩山町
5-6-26-301

Tel 0423-95-9849

編集責任者 川村英明

春季市民総球大会のお知らせ

- 4月10日(日) 男子ダブルス
- 4月17日(日) 女子・壮年ダブルス
- 4月24日(日) 混合ダブルス

♡ 市民の皆さん、
頑張ってください! ♡

第12回定期総会報告〔続〕

2. 58年活動方針

(2.1) 定期練習

コート数、時間数が非常に少ない現状で多くの問題が山積みするのは止むを得ないとして、できるところから一歩一歩、改善していきたい。

1. 練習の内容は基本的には57年と同じとします。
2. 指導内容は大きく変えることは現状では無理ですので、1クラス最低2名(日・祝日)の指導員がはりつけるようにしたい。次に各クラスの目標を次のようにします。

・初心者クラスは、グランドストローク、サーブ、ボレー、スマッシュの基本的なラケットワークを身につけ、フットワークを伴ったボールの処理でもそのラケットワークが大きいくずれることのないようにする。

・初級者クラスは、安定性を(即ちミスをおくなくする)重視すると共に、プレースメント(ネラッタヒニヨにボールを打つこと)も身につけられるようにします。

・中級者については、安定性を一層増すと共にチャンスボールを確実に決めることを身につけると共に、ダブルスを重視し、二人ネットのパターンを身につける。

3. ジュニアについては、技術指導の基本は57年とほぼ同じにしたいが、入員1年以上の子供は、ジュニアの時間だけでなく大人の定期練習にも出席するよう指導を強める。また生活指導の面について皆さんの英知をおかりして改善したい。

(2.2) 外部指導者による講習会

“柳会長入院”

去る3月23日、ペースメーカー交換の為、国電新宿駅南口の榊原記念病院(517号室)に入院されました。細部は事務局まで。

四月の練習コート

今月は春季市民大会が入りますので、下記の通りとなります。

4月9日(土)	} 6~9時	運動公園A,B,Cコート
4月16日(土)		
4月23日(土)	} 9~13時	久米川 1,2,3コート
4月30日(土)		
	} 13~18時	久米川 全コート

1. 今年も初級者向けの房前教室を最低1回、できれば2回持ちます。また、中級者向けの本井教室は1回持ちます。
2. 硬庭連の指導者講習会には技術部員を含めた中級者も、庭連協の指導者講習会には技術部員を派遣します。
3. できるだけ早く全員に要綱を周知できるように心掛けます。

(2.3) 技術部研修

1. 2ヶ月に1回を定例化させます。(日曜日の1時から1面)
2. 研修内容は

- ①指導内容の意志統一
- ②技術部員の集中練習

(2.4) 技術部会

研修会の後、開きます。

(2.5) 部内大会の開催

6月と12月に部内の親睦のための団体戦を行います。

(2.6) 書籍の貸出し

PRを強化すると共に借りやすいように工夫します。

(2.7) 投書箱の設置

練習の後、時間があればミーティングを行ない、その場で意見を交換することが望ましいのですがそのゆとりがありません。そこで技術指導その他に関しての御意見、質問、提案等を寄せて頂けるように、投書箱を設置しますので、記名、無記名を問いませんので是非、利用して下さい。

1958.3.6 文責、武谷

質疑の内容

※58年度活動方針をめぐってのその他の主要な討議内容

①コート使用許可証について

最近コート使用開始時に許可証の提出が求められるようになり、責任ある保管、提出体制の確立が早急に必要となってきた。一個人にのみ負担がなかり、無責任な運用はトラブルのもとになるので、運営委員会で新しいルールづくりに取り組むことになった。

②市民テ平日コート確保の要望について

2月5日市民テ有志から「平日コート確保」の趣意書が執行部あてに提出された。その主旨は、(1)会員が自由に参加できる練習時間の増加、(2)会員相互の親睦の補いの場として、(3)市営コートの有効利用と市のコンピューター導入に伴う不自由さの解消、(4)市民テのより一層の充実と発展の一助として、を骨子とするものであった。

これに対して運営委員会から「平日構想については、今年末を目途に慎重な検討(小委員会等を設け)を行ない結論づけたい」併せ、これまで実施してきている「早朝と水曜ナイター練習の取り扱いについても検討していく」という回答が出された。

総会の58年度活動方針の討議の中で、こうした重要案件について、最高の議決機関である総会において意見をきくべきとの提案がなされ、活発な意見の交換がされた。練習に出られない会員にとって不公平であるという意見もあったが、それぞれに都合のつく時間に自由な、誰でも参加できる市民テの練習を増していくことは、前向きに取り組むべきとの意見が大勢を占めた。ただ、利用機会の少ない会員の不公平感の問題に対しては、受益者負担の原則なども出された。いずれにしても、大局的な見地から、市民テの一層の発展のためにも、早急に運営委員会で結論を出すべきとの意見をつけ、委員会に付託された。

広報部関係

☆58年度方針☆

1. 内容の改善・工夫に努める。

今までと同じ紙面、方式で、当月の活動に役立つ内容とする。

①コートの使用予定

②運営委員会の報告 } など、会の運営状況を
技術部会の報告 } 知らせる。

2. 事務局、技術部との連携を改善

3. "ガット"の編集、作成を広報部内の協力を強めながら行なう。

(現状は、各クラブの請負い=個人の請負い、と)なっている→紙面の内容にも反映
広報部長と部員の仕事分担を明確化
4.印刷方法を検討し、今年度中に方向付けをする。(費用、方式を含めて)

本の紹介 武谷千枝子

『のびのび剣道』 著者 } 大塚忠義
宇都宮伸二
高橋享

テニスの機関紙に、剣道の本を
紹介するのは場違いとお叱りを受けそうですが、敢てここに載せるのは、スポーツはなんでも共通点があり、他の種類の本を読んでいる中に閉く事があるのを強調したいからです。そういう意味では本書は打って付け、この本から我々テニスプレーヤーも学ぶ事は多いはず。本書のもう一つの特徴は、クラブや仲間作りをどうしたらよいか、よいクラブのあり方、学ぶ姿勢などについて、わかりやすく親切に書いてあります。もう一つ是非、ジュニアのお母さん方に読んで頂きたい項があります。「15年剣士のお母さんへ」という章ですが、それはそのまま、「ジュニアのお母さんへ」と置き換えても、充分通用する内容です。

さてテニスの為だけの宣伝になってしまいました。もちろん剣道の指導書としても一飛で、題名が示すように、今までの指導書にははいい、とてわかりやすい、しかも内容の濃い本です。例えば、従来の本では解説の写真や絵が小さく、更に稽古着や袴をつけたままなので、足や手の細かい使い方もわかりにくい点がありましたが、本書は一流の漫画家による専門家のアドバイスの上でのイラストで、わかりやすくしかも正しい足や手の使い方などを説明しています。子供達にもとっつきやすく、しかも上級者や指導者にも参考になる良い本です。お知り合いの方や我々が剣道をはさっている方には一読の価値のある本です。今、徳川家康を演じている滝田栄氏も「剣道の稽古を楽しんで出来るようになるガイドブックだ。」と推薦しています。

最後に、著者の一人宇都宮伸二氏は、都立国分寺高校の体育の教師であり、都立大出身の剣道の達人です。授業は言うまでもなく、剣道部の指導や学校の種々の活動に精力的に取り組む立派な先生です。(定価1,200円 青木書店、特価1,000円でお分け致しております。)

梅、桃の花が過ぎ、今は辛夷、木蓮と桜も開き春爛漫。テニスの好季節と相成りました。春の大会を迎え、会員皆様の健康を祈念致します。1983.4.3担当 青葉クラブ 横山